

## 2011年7月 米国コロラド州鉄道の旅

7月18日（月）

昨日はゴルフで熟睡して5時半に起床。いつもの様に愛犬 jazz の散歩をし、新聞を読みゆっくり朝食を食べて7時45分に鯉田駅を目指して自宅を出た瞬間にメールにて福北ゆたか線の不通が知らされた。直ちに自宅に引き返しとりあえずタクシーにて空港バスも通る新飯塚駅へ向かう。いざとなれば空港までタクシーのつもりである。

新飯塚駅にて列車の運行開始を確認できたが遅れているし、ラッシュ時なので列車のさらなる遅延が心配なため8:11新飯塚駅前発の空港バスに乗車する。

祭日のためか車の通行量は少なく空港に定刻9:23に到着する。eチケットにて搭乗券を入手するがカウンターの女性が不慣れなようで時間がかかる。搭乗便は定刻から15分遅れで出発となり、羽田空港に11時55分着、京浜急行にて品川駅へ出て、JR線に乗り換え上野駅へ行く。

京成上野駅のコンビニにて昼食用にサンドイッチを購入し、急いで予約済のスカイライナー



に乗車する。余裕がほとんど無い乗り継ぎであったがスカイライナーへの乗車の機会のはめったに無いのでこのルートを選択した。新線区間はさすがに早い！時速160Km 運転のはず。成田空港ターミナル駅にて下車、出札口を通るとすぐに身分証明書のチェックを受けてターミナルへ。

第1ターミナル南ウイング4階（出発ロビー）のクロネコヤマトにてトランクを受け取り K ゾーンのカウンター21に集合。無事に間に合ったが福岡空港出発から4時間での成田空港着は忙しかった。乗り換え、乗り継ぎを迷っていたら無理であろう。

14名のメンバーが集合、UNITED のチェックイン終了後に一旦全員再集合。その後各自出国手続きを行う。携行用のピローを購入して搭乗ゲート37の周辺にて時間をつぶすが PC 用の配線付きのテーブルが準備されていたので利用させてもらい日記を書く。

UA876便にて16:40にゲートを離れ、一路米国へ。シアトルまで8時間18分のフライトである。水平飛行になると飲み物、その後食事サービスがありビデオを見ながらうつらうつらしていると日本時間24時（シアトル時間8時）に照明が点灯。朝食と飲み物のサービスが始まった。

現地時間9:25に無事到着。シアトル空港の南タワーにて入国手続きを済ませ、荷物は税関チェック後に再度預ける。その後国内線デンバー行きへの乗り継ぎの為に北タワーに移動するが地下鉄での移動で南タワーから本館、本館南から本館北さらに本館北から北タワーと三回の乗り継ぎであった。同じ便名のままで飛行機が変わる UA876便デンバー行きは出発が大幅に遅れており、12:45となり予定よりさらに長くなり約2時間半の

暇つぶしとなった。

空港のロビーで暇をつぶし最終的には12:55の出発となる、離陸後すぐに居眠りが始まり、1時間後の飲み物の配布が始まって目が覚めた。窓の外には白いロッキー山脈がかすかに見えた。



16:00にデンバーに到着、広い空港で荷物の受け取りや迎えの車との待ち合わせ等々で約1時間を要した。ガイドさんは女性でみちこさん、車の運転手は陽気なブーちゃんの Jeafu であった。

本来はまずは鉄道模型店の見学に行く予定であったが飛行機の約3時間遅れの到着のためすでに夕食時間が迫っていたので予定変更でレストラン BUCKHORN に向かう。このレストランは100年以上の歴史のある地元の有名なお店とのことであるが、お店の目の前が UP (ユニオンパシフィック鉄道) の機関車庫となっているようで、多数の DL が停まっていたので車から降りたら直ぐに全員が写真撮影に向かったのが面白かった。また市内電車も平行して走っていた。



お店ではまず参加メンバーの自己紹介

があり私が最も遠方であった。当然ながら皆さんが鉄ちゃんであるがそれぞれに少しずつ興味のポイントが異なっていた。また、メンバー14名中8名が何らかの旧知のようであった。ビールで乾杯し食事となるがバッファローのステーキを選択した。お肉は200g弱かなー、柔らかく脂肪分が少なく美味しくて倍量は食べられそうであった。サイドメニューでマウンテンオイスターなる食べ物が出てきたが何とバッファローの睾丸とのことだったが歯ごたえがあり不味くは無かった。

Buckhorn の壁には狩猟でとったバッファローや鹿など多数の剥製や猟銃が飾られ、映画で見る昔のアメリカの家？小屋？のイメージを彷彿とさせる内装であった。アイスクリームとコーヒーを飲んで食事を終えホテルへ向かう。チェックイン後に直ぐに入浴し、洗濯を済ませた。ネットが使えたのでメールチェックをし、ネットでテレビを見ながら日記を記載し、就寝する。

7月19日 (火)

午前5時半にモーニングコールにて目が覚める、よく眠れた。洗面を済ませ朝食をホテルの食堂で済ませ、6時半にチャーターバスにて出発する。天気は快晴で国道70号線をロッキー山脈へ向かって西へ走る。高度をどんどん上げ、遠くに行きのある山々が見え出

し、途中で午後に寄る SilverPlume を確認し、さらに西へ進むとスキー場が多数見え出すと国道 9 1 号へ別れ南西へ走る。

最初の目的地 Leadvills の Colorado and Southern Railroad 駅に 9 : 2 0 に到着したが、機関車は DL でしかも標準軌間（開業時は狭軌）の編成が停まっているのではないか。がっかりするもどうしようもないので早々に屋根付きの車両に場所を確保する。Leadvills の町は



ロッキー山脈の山間にある昔は銀鉱山があった町で周りを雪が残った 3000m 級の山々に囲まれたところであった。

列車は定刻に DL のプッシュでゆっくり発車、路盤は大変悪く時速 30 Km も出ているだろうか、やって来た道路に沿って山腹を等高線に沿うように走っていた。昔はデンバーまでつながった鉄道で有ったとの

こと。約 1 時間で蒸気機関車への水の補給塔の残骸？を過ぎるとまもなく行き止まりに到着するが駅も何も無く直ちに引き返したが標高は 3000 m を超えているとのことだった。

水の補給塔まで戻ると小休止となって列車の写真を撮ったり、DL の運転室の見学が行われ



たりした。30 分程の休憩で発車、来た道をゆっくり戻るので途中で昼食用に配布された幕の内弁当を食べ、その後満腹のためか食後の居眠りをしてしまった。しかし、とてもがっかりの列車の旅であった。

12 : 45 に Leadville を出発、同じ道を SilverPlume へ向かった。ところが SilverPlume 到着後、本日の最大の目的である GeorgetownLoop 鉄道での列車の運行が DL 牽引で本日は SL 牽引では走らないことが判明。明日は SL の動く可能性があるとのことで急遽予定が変更となり、DL 牽引列車の Loop での走行を写真撮影し、明日見学予定であった ColoradoRailroadMuseum へ向かう。



館内や庭の展示物を見て回る。雨がす間もなく止んだ。シェイ式の SL われた自動車改造したレールカーがユニークであった。また、地下の HO ゲージの模型もすばらしかった。集合時間になると雨が降り出しやがて雷雨になった。



15 : 45 に博物館に到着するも見学時間は 1 時間とのことで大慌にて広い降ったが傘をさと森林鉄道で使

雨のなか UNION ステーションへ向かうが市内に近づくと雨は上がった。ラッシュ時間

で意外と時間がかかり Union ステーションにたどり着くと駅そのものが使用中止で AMTRAK の事務所も移動しており駅舎の中を少々見学し、写真を取って仮事務所へ向かう。



メンバーに時刻表マニアが居るために AMTRAK の時刻表入手が目的で全員分いただけたが数の多さに事務所の職員もびっくりしたことだろう。その後ホテルへ戻るが 18 時 10 分だった。

部屋で入浴、洗濯を済ませてパジャマ代わりに持参の作業衣を着て 18 時 45 分、ホテルの隣にあるファミリーレストラン Parkins へ全員で一緒に行く。しかしアルコールライセンスが無いようでビールもないのには驚いた。ポークチャップのセットメニューを頼んだが量の多く残しながら食べてデザートまでたどり着いたが全員で食事を終えるのに 2 時間もかかった。食事代 14 ドルなり。

食後に近くの銀行にある ATM でのキャッシュの引き出しを試みるが時間外で対応出来ないとの表示であきらめてホテルへ戻る。メールチェックをし、日記を書いて寝ることとする。

7 月 20 日 (水)

午前 3 : 30 に起床。再度寝付こうとするが眠れずあきらめて起きだし PC でテレビをみて過ごす。5 時半になり散歩に出かけたがロッキー山脈はピンク色に染まっていた。再度部屋でテレビを見てモーニングコールを待つが結局かかって来ずに 6 時 40 分に朝食に出かけた。

十分に朝食を食べ部屋に戻ってメールチェックを済ませ、荷物を積めて部屋を出ると迎えるバスが来ており急いでチェックアウトを済ませた。

昨日乗車できなかった GeorgeTown Loop 鉄道の SL 列車への乗車と写真撮影に 7 時半に出発する。約 1 時間にて到着するが列車の発車は 10 時なのであまりにも早着で、受付も開いてなかった。しかし！何と SL が機関庫の前に停まって蒸気を上げているではないか！

本日は全列車 SL で運行予定とのこと。



SL の写真を何度も何度も撮りながら時間を過ごす。10 時にオンタイムで出



発するが乗客が少なく車両内を遠慮な

く移動して写真の撮影が出来た。終点の Devil's Gate にて乗り鉄の 5 名を残し下車。

桜井さんの案内で SL の撮影ポイントへ移動。青空を背景に SL の走行シーンを撮るが残念なことに DL が次位についていた。パワー不足で付いているのだろうがこの DL の運転手は女性で娘が助手席に乗っていた。



列車の鉄橋を通過後にバスにて Silver Plume へ急いで戻り、SL の到着風景を撮影する。乗り鉄のメンバーを乗せてバスは昨日訪れた展望台へ 1 1 : 2 5 発の SL 列車の撮影へ向かう。次位についていた DL が

先行で下っていく風景を撮影したがその間に SL が定刻に発車していた。逆行での SL の走行をゆっくり撮影し大満足の訪問を終えた。

その後デンバーへの帰手さんオススメの店でピシかった。もう一度訪れて少々時間がかかりすぎるランから SL の展示が見えバー市内へ向かう。

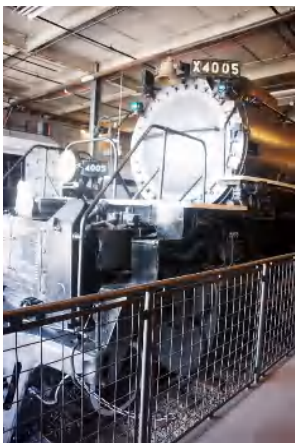


足で GeogrTownLoop 鉄

路、途中の町で昼食に運転ザを食べるがこれは美味も良いお店であったのが難点であった。レストたので食後撮影してデン

この移動中の車内で、昼食に誰かが支払った 2 0 ドル紙幣に偽札が混じっていたとのこと。店員に呼び止められ、パトカーがやってきて添乗員の古澤さんのパスポート番号と氏名が控えられたことを知らされた。先に出て、街中を歩いていたので気がつかなかった。

デンバー市内へ戻り、鉄道模型店の MizellTrains&HobbiesInc を訪れ、ついで世界最大の蒸気機関車ビッグボーイが展示してあるフォーニー交通博物館、さらに鉄道模型店 CabooseHobbies を訪れてデンバーでの予定を無事にすべて終了。鉄道模型店の品揃えはさすがで日本では見られない規模であった。フォーニー交通博物館の展示は自動車が多く、屋内展示にするにはビッグボーイはあまりにも大きく全体が見られずに不満であった。



ラッシュの高速道を走り、途中で数台の DL に牽引された長い長い貨物列車が結構頻繁に走るのを見ながらコロラドスプリングへ向かう。途中で運転手さんが寄り道をしたのでどうしたのかと思ったら私のために ATM を探してくれたのでびっくりで、皆さんへ申し訳なかった。しかし、ここでもキャッシュカードが使えずクレジットカードにてお金を引き出した。(CHEKING でなく SAVING でお金の引き出しをしなくてはならなかった事が帰国後判明)

コロラドスプリングへ着くとホテルを通り過ぎて廃止されレストランとなっている駅舎

の見学へ運転手さんが連れて行ってくれた。旧駅前の公園に SL が展示されており、レストランの中の駅舎の名残りを撮影していると貨物列車がやってきたので急いで線路際へ移動する。



その後 19:10 にホテルへチェックインし、直ぐに夕食となるがメキシコ料理でタコスやトルティージャがメインで夕食としては少々がっかりであった。ビールを飲んでいたので食後早々に入浴、洗濯をして就寝。夜中に上の階のギシギシと言う足音でビックリして目が覚めた

が音からするとよほどの巨漢と思われる。

7月21日(木)

一生懸命寝ていたが4時半に起床し PC のテレビを見ながらメールチェックをし、日記を記載するが外は雨模様であった。日記の記載を終え散歩に出ると6時半過ぎに雨は止んでいた。

列車の走行が見えないかと陸橋まで行くと丁度南行きの石炭運搬列車の先頭が見えた。



DL 2 両の牽引で延々と貨車が過ぎてゆく。途中で撮影場所を変えようと移動していると対向列車が DL 4 両の牽引でやって来たので離合風景を見物、撮影をしているとやっと南行の列車が後尾に 2 両の DL が付いて過ぎて行った。北行列車(空の石炭運搬車)の最後尾を見定めてホテルへ戻る。

ホテルに戻って朝食をゆっくり済ませ部屋に戻り荷物を詰めてチェックアウトする。8:10に出発。約15分で PikesPeakCogRailway の乗り場に到着、出発時刻の9時20分までゆっくり過ごす。座席指定なので時間ぎりぎりに乗車。9:25に発車するがすぐに急坂で最初は巨石に驚かされる。麓の風景が木々の間から時々見えながら森林地帯を過ぎ、森林限界を超えた地点で下りの列車と離合。上り下りとも1両と2両の続行運転で絵になる風景であったが極めて残念ながらシート位置の関係で写真が取れなかった。この列車は左側がオススメである。幸い天候に恵まれ遠くまで見通しが利いたが線路際には登山客やリスの姿も見られ、最後の急坂を登ると高さ4009mの PikesPeak 山頂駅に到着した。



さすがに寒く、持参のダウンジャケットが必要であった。まずは全員の集合写真を車両の前で撮影して解散。山頂を一回りするが西の方向に遠めに雪をかぶった山脈が見えた。さすが 4000m の山で急いで歩くと頭がボーとなった。山頂駅に入るとお土産品をいっぱい



い売っていたがトイレが水洗には感心した。

11:20定刻に下り列車が発車。上りの際の離合地点で上りの列車と交換し、12:31に登山口駅に到着。バスにて次の目的地「神々の庭国立公園」へ向かう。すぐにぼつりぼつりと雨が降り出したが山で雨に降られなく助かった。国立公園内に着くと雨が激しくなっていて、鉄道ファンのみのツアーでは皆さん依

存なく、二箇所写真撮影に停まったのみでキャノンシティへ向かう。

団体旅行のありがたさで居眠りをしても寝過ぎす心配も無い。キャノンシティに早く到着したので明日乗車予定のRoyalGorgeRoutoRailroadの走行写真を撮るために同じく明日訪問予定のRoyalGorgeBrigeParkへ行くことになる。



RoyalGorgeBrigeParkに入園し、つり橋の上から撮影するか展望台から撮影するかを見比べて、結局つり橋の上から列車の撮影をすることにした。しかし高い崖の上に良くこのようなつり橋を架けたものでこのつり橋は道路橋で揺れることも無い立派な橋であった。

15:55過ぎにRoyalGorgeRoutoRailroadの黄色いDLが見え出しカメラとビデオを構えて撮影す。さらに橋の上を移動して通過して行く列車を撮影して本日の予定を終了。集合までの間に今回の旅行で初めてソフトクリームを食べたがやはりアメリカ、量が多い。

17:15にホテルにチェックインし、急いで入浴、洗濯を済ませ17:45に夕食へ徒歩で出かける。イタリアンレストランでスパゲティを食べるがまあまあであった。他のメニューには不満の声が上がっていたが。ビールを飲んでチップをつけて15ドルであった。

各自の自己紹介の追加を行いながら約2時間の食事を終えホテルに戻るとメールチェックと日記の記載を済ませ就寝するが23時になってしまった。

## 7月22日（金）

5時半まで辛抱してうつらうつらする。まずはいつものようにPCで日本のテレビを見ながら日記の残りを記載するが日本のテレビ番組の品の無いこと！暇つぶしでも見たくない番組が多いと改めて感じた。7時過ぎに記載を終え、荷物を整理して外出の準備を済ませフロントに行くと皆さんが朝食中で一緒に済ませる。この際に、なんと昨夜も偽20ドル紙幣事件があったとのこと！夜中に運転手のジェフの部屋にポリスがやってきたとのことであった。誰かがもらったおつりの中に偽札が混じっていたのだろう。ババは回したが勝ちなので。

その後本日乗車する駅の近辺の公園や川沿いの散歩道を歩くが犬の散歩や老人グループ

の散歩ばかりであった。本日乗車する **RoyalGorgeRouteRailroad** が出発の準備中で、やがて踏み切りの警告音が鳴り出したので良く見ているときわめてゆっくり、しかもちょっと動いてはすぐに停まるではないか。それを繰り返していたので踏み切りを通れず陸橋に回った。すると何と一両ごとに給水を行っているようでさらに時間がかかりそうであった。

8 時過ぎにホテルへ戻ると荷物の積み込みが始まっていたので部屋に戻りトランクを下ろしてチェックアウトを済ませる。8：30 ホテルを出発、数分で **Canyoncity** の駅に到着する。発車は9：30 なのでお土産屋で半袖のシャツを購入する。

9 時過ぎて乗車が始まり機関車の前で全員の記念撮影をするが桜井さんの声かけで車掌も一緒に機関車の前まで行って撮影する。定刻9：30に出発、ゆっくりとしたスピードで(40Kmぐらい)川沿いに走る。まもなく渓谷沿いとなり横の川には **Rafting** のボートが多数流れていった。

車内販売の飲み物を頼んだがなかなか来ないのでそのまま撮影のために後方のオープンデッキの車両へ移動する。進行方向左側の川沿いに立ちながら先頭車両を撮影する。約25分で昨日訪問した **RoyalGorgeBrigePark** が迫り、つり橋を入れた撮影を済ませて一段落



する。席へ戻り7ドルの飲み物(名前を忘れたお奨めの飲み物)を飲んだ。その後約30分で折り返し地点に到着、その編成のままプッシュで、先頭は運転台付き貨車で帰路となった。帰りもオープンデッキに行き多数の写真を撮影するが天気が快晴で何よりであった。

出発2時間後の11：30に **Cyanyoncity** に到着、トイレ休憩の後に12時には昨日訪問の **RoyalGorgeBrigePark** へ向かう。

12：25到着後すぐにインクライン(要はケーブルカー)へ向かう。何とかぎりぎり12：50発にメンバー全員が乗れた。

**RoyalGorge** がすでに通過の予定時刻なのに下の駅に到っても汽笛が聞こえず、急いで撮影ポイントで待ち構える



ぐに列車がやって来た。全員があつてみんなで大喜びをした。今回の編成では最後尾にもDL車が着いており大満足であった。



着し  
とす  
間に  
また、  
機関





列車通過後すぐにインクラインで上に戻る。さらに RoyalGorge の帰りの通過も撮影することになりアイスクリームを食べ、一休みをしていると数匹のハチドリがイチゴ型の給水器？の周りを飛び回っているのに気がついた。上手く撮影したつもりだが・・・。

13:50 少々早めのつもりでつり橋に行くと遠くの谷あいには列車が見えるでは無いか！大急ぎで撮影

ポイントへ走り撮影、列車がつり橋の下にかかるのを待ってさらに走って移動し、深い谷

あいをくねくねと通過して行くのを多数撮影。満足満足。



14:15 出発。途中で15ドルのハンバーガーの昼食に1時間20分ほど立ち寄って18:50に本日の宿 NarrowGageRailRoadInn (Antonito の) に到着。まさにホテルの名前の通り明日乗車する狭軌鉄道の駅横にあるホテルで、到着時に煙を上げる蒸気機関車を見つけたのでチェックイン終了後荷物を部屋に置いてすぐに駅へ向かう。

数名で機関庫に入っていた SL の写真を撮っていると何と！機関車を庫内から外へ出してくれた！！大感激である。しばし撮影大会でぐるぐるとアングルを変えて撮る。やがて SL は機関庫内へ移動するが機関車は庫を抜けてさらに後方まで進み、蒸気を出したり火床を整理したりして明日への運行の準備態勢を行っていた。



大感激のあと、20:00に希望者でホテル横のレストランへ夕食に行くがバーが併設の店で



多くの現地の人たちが飲んでいたが別の部屋なので

助かった。焼きすぎた T ボーンステーキを食べてビールと合わせて18ドルであった。21:30に部屋へ戻り入浴し、洗濯を済ませる。その後ネット接続を試みるが部屋では無理でフロントの前の椅子に腰掛けメールチェックを済ませ、丁度日本時間13時のニュースを見る。5分間オタワで80人の死者を出す乱射事件があったとの報道のみであった。蚊がいっぱい飛んでいて複数刺された。日記の記載を済ませると23時半を過ぎており目覚ましをセットして就寝。

7月23日(土)

なかなか寝付けなかったが、5時半に二階からの足音にて目が覚めた。すぐに荷物を整

理して6時15分にトランクを抱えてフロントへ行く。チェックアウトを済ませるが朝食はまだ準備が出来ていなかったのしばし皆さんと話をする。甘い甘いドーナッツが来たので1個いただいた。コーヒーとオレンジジュースを飲んで朝食終了。駅へ列車の準備状況を見に行くがSLは昨夕のままで停まっていた。朝日で光ったSLを撮影しホテルへ戻る。



7:15 出発。一路 Chama へ向う。峠を越えるとやがて左の谷間に鉄道路線が見えてきた。まもなく踏切があり、そこが鉄道のサミットであった。その後は線路と平行に Chama まで下るが明らかに急勾配である。丁度1時間で Chama に到着。

とりあえずは煙が上がっている場所を目指し、SLの写真を前後左右とりまくる。9:30の集合時にバスでの追っかけ撮影が出来ることが判明、昼食が食べられない、列車にはまったく乗れないとの条件だったがもちろん撮り鉄を申し込む。出発までの残り時間にSLへの石炭の積み込みが始まったがシャベルローダーを使っていた。



10時の発車風景を撮影後すぐにバスに飛び乗り追っかけが始まった。駅を出てまもなくの踏切が最初の撮影ポイントで、列車が行き過ぎるとバスに乗り、撮影に適した場所を求めて走る。路肩に撮り鉄仲間と思われる乗用車が数台止まっており、景色もよさそうなので停車、三脚を構えて写真とビデオの撮影をする。

撮影の際に運転手のジェフが有刺鉄線をくぐって牧場内に入って行ったのには驚いたが、なおかつ線路横に立ってわれらの撮影の邪魔をしてしまった。列車通過後バスに戻るとジェフが前に止まっている車の運転手と話し、撮影に適した場所に先行してもらおうように話をつけていた。その後はその車の指示する場所でSLの力行に継ぐ力行を撮影する。





今朝通過した道路と交差するサミットにたどり着くと駅舎があり、駅員に訪ねると列車は停まるのでチケットがあるなら乗れるよ、とのことで大喜びにてSLの撮影をしながら列車の到着を待つ。到着後車掌に話し、無事乗車できた。この間の撮り鉄だけでも本日は大満足である。

列車はサミットを超えたので下りが始まった、まもなく車から見えた大きなカーブの場所を通過、さらに緩い勾配の路線を延々と下る。約1時間後の12:25にOsierに到着、昼食時間で列車の乗客のみが訪れるレストランで食事となる。ターキーの昼食を食べていると対抗列車が到着した。食後のデザートも食べて発車を待つ。



対向列車が先に出発、5分後に発車するがまもなく対向列車がゆっくりと勾配を登ってゆくところが見えた。その後も延々と地形に沿って徐々に下るがきわめて深い谷やトンネル、鉄橋や急なホースシューカーブなどを過ぎてゆく。やがて乾燥した地域となり同じような景色が延々と続き、昨夜泊まったホテルが見え



ると、16:40定刻にAntonito到着する。お土産ショップをのぞいて17時にデュランゴを目指して走り出す。今朝と同じ道をChamaまで戻りその後はもくもくと走る。途中でガソリン補充にガソリンスタンドに寄ったがコンビニを兼ねておりチェリーコーラが珍しいのでワンカートン購入、みんなで飲む。20:30にホテルに到着しチェックイン後すぐにバスにモンゴリアンB-Q店へ向う。例によって量が多いのが取り柄で味は濃いくおすすめのお店ではなかった。アメリカでわざわざモンゴリアンレストランとは？22時にホテルに帰着、入浴洗濯を済ませ日記をつけて24時に就寝。

7月24日（日）

午前6時起床。ゆっくり朝の準備を進め、パソコンの接続をいろいろやってみて室内での接続に成功、メールチェックを行う。7時過ぎに朝食へ行くと数名のメンバーが朝食中で、内容はお店の勝手に出てきたのをいただく。通常なら選択出来るようだが。

8時にフロントに集合し徒歩で駅へ向かう。我々の乗車する3番列車は10時の出発だがその前の8時30分の一番列車の出発、9時15分発の二番列車の出発を撮影する。一



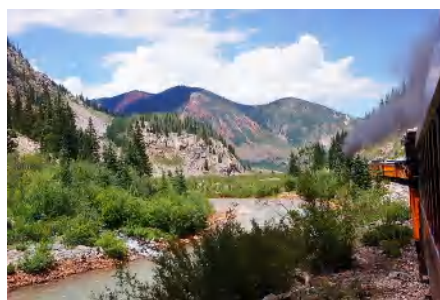
番列車の出発は駅構内から出て1ブロック先の交差点から撮影、通過後に街中を歩いて、スターバックスでスコーンとデーニッシュを昼食用に購入する。2番列車は駅構内のはずれから撮影した。



定刻に3番列車が出発、市内を抜けすぐに郊外へ。まずは平地を走りゴルフ場やグライダーの滑空場などもあった。スナックカーの見学に行きオレンジジュースを購入した。やがて勾配が始まり、徐々に高度を上げる。やがて右側に渓谷が始まり、断崖が徐々に高度を上げ、急峻な断崖絶壁を走るようになる。



パンフレットの写真で有名なポイントを午後から徒歩で訪問する撮り鉄の希望があったのももちろん挙手する。断崖の渓谷は1時間弱で終え、狭い谷間を川の流りに沿ってくねくねと走って行くが12時を過ぎたのでスタバで購入したパンとオレンジジュースで昼食とする。ほぼ乗車後より立ったまま右に



左に移動して写真を撮る。

13時30分にシルバートンへ到着したが、直前の三角線に方向転換を終えた2番列車が止まっていた。進行方向の転換を終えて止まっていた1番列車のSLを撮影し、その後乗ってきた3番列車のSLも撮影するが機関車は車両止めも無い交差点間際に止まっていた。

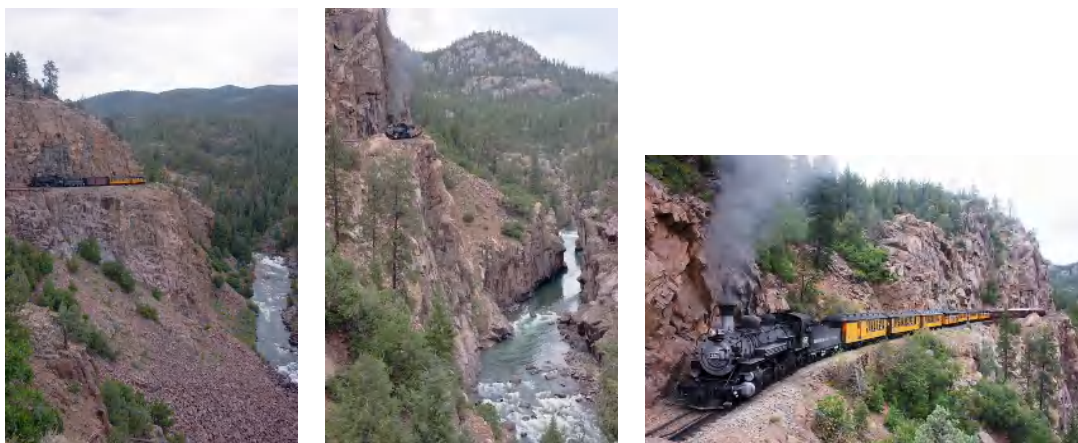


撮り鉄組みは14時にバスで出発なのでコーラを買ってバスに乗車をするが撮り鉄は全員で6名であった。バスが国道を登ってゆくとシルバートンの市街地が良く見え、列車の方向転換をする三角線も見えたが撮影は出来ず惜しかった。

何度か迷いながら(200号線を入る)目的の途中駅に3時15分ころ到着。すぐに線路を歩き始め観光鉄道地図上の目的地⑤ポイントへ向かう。約15分で到達するがお互いに立ち位置を定めていると突然運転手のジェフがやって来た。彼も我々鉄ちゃんの影響をますます受けてや

って来たのだ。途中で急いで歩くカヤックを抱えた男性に抜かれたが彼は我々の位置より奥へ進み、30分ほどしてオレンジ色のカヤックで深い渓谷の川面を下ってきた。

やがて予定より10分ほど遅れて一番列車がやって来た。三脚にセットをしたビデオとカメラで何枚も撮影するが乗客もとんでもない場所でのカメラマンとの遭遇に驚いているようで手を振る人が多かった。通過後に撮影ポイントを変えるために2百メートルほど引き返す。



次の場所でお互いの立ち位置を決め待っていると2番列車も予定より10分遅れてやってきた。飽きずにどんどん撮影する。あまりにたくさん撮影したためにカメラのバッテリーが消耗し交換したがこれは初めての経験である。

遅れてくるだろうと待っていた3番列車は定時やって来たので慌てて撮影を開始。下り勾配なので煙は通常ほとんど出ないのだが我々に気がついたのか煙を一杯出してくれたので感激であった。最後尾の我々の乗り鉄組みも気がついたようでお互いを撮影しあった。



3本の列車を無事に撮影終了後急いで車へ戻り、デュランゴの駅まで急ぐが勾配が終え、平地になって煙が見えてやっと追いついたと思ったら2番列車であった。知らぬ間に3番列車を追い越していたのだがバスで約20分の区間を列車は1時間以上かかるのだった。

駅に到着後、すでに到着していた1番列車を撮影したが駅構内ではDLが客車編成の移動に使われていた。途中で追い越した2番列車が定刻より15分の遅れにて到着し、これもたくさん撮影、さらに20分後に到着した撮り鉄の乗った3番列車も撮影して今回の旅が終わった。



全員が集合して最後の晩餐としてすし屋へ行く。最遠方より参加のメンバーということで乾杯の音頭をとられ、無事なる

旅の終了と企画立案して戴いた桜井、古澤両氏に感謝をのべた。なお、大変楽しくにぎやかだった運転手のジェフも参加した。日本のビールや日本酒も置いてあり、経営者と職人は日本人だったが、ちょっと物足りない寿司（シャリが不味かった）とうどん（これも麺が・・・）でお腹を満たしたが明日の出発が午前4時と早いので早々に解散となった。和食を好まれるメンバーもおられるのだろうかからやむを得ないがこんなところで和食とは・・・？

なお、すし屋でメンバーが転倒したのでホテルへ戻って湿布を届け、その後入浴し、荷物の準備をし、日記を記載する。今回の旅行も無事に終わりそうである。

7月25日（月）

午前3時起床、2時に一端目が覚めたがその後寝てしまったようで3時に目覚ましで起きた。最後のメールチェックをしてPCを片付け、洗面を済ませてトランクのパッケージを済ませて準備完了。3時半に確認のモーニングコールがかかってきたのでフロントへ行く。

4時過ぎにタクシー？がやって来たが2台で、1台に13名が乗車。残りにトランク多数と助手席に1名が乗車して空港へむかう。約20分後4時半に空港に到着するが誰も居なかった。空港は小さなローカル空港でボーディングブリッジも無かったが3機の旅客機が駐機していた。

やがて手続きが始まるが国際線乗り継ぎのためか手続きに時間がかかる。荷物を預けしなればし時間があり搭乗開始となるが手荷物検査が厳重でさらに時間がかかる。6時前に暗い中、飛行機に地上歩行で搭乗するが最近では珍しいことでさすがにローカル空港である。6時10分には明るくなり出発となる。

雪の残る山々を見ながらの飛行で、約1時間でデンバー国際空港に到着。しかし、広い空港である。滑走路からターミナルまでの遠いこと。また到着したBターミナルの広いこと。しかも到着ゲートからシアトル行きの搭乗ゲートまでがほぼ端から端の移動となり大変であった。約40分の乗り継ぎで朝食にスコーンとジュースを購入した。

シアトル行きはB757でシアトルからデンバーまでの機体と同じで、歯科医M氏と並んで座ったがその横の席に赤ん坊を抱っこした妊婦さん（お腹が大きめ）でM先生は赤ん坊をあやし、写真を撮ったりしていた。

ロッキー山脈を越えてシアトルへ向かうが山脈は東西の幅も広く、次々に雪をいっぱいかぶった峰々が次々に現れた。シアトルにはほぼ定刻に到着したが、同じ便名の東京行き

は30分遅れの案内が出ていた。

ターミナルでお土産を買いたかったがめぼしいものは無く、出発前にお土産の配送サービスを頼んでおいて正解だった。結局14時15分にB777は離陸となったが東京到着予定は14:50と早着の予定が出た。そのすぐに寝てしまい、夕食サービスまで寝ていた。

食事後にトイレに行き東側の窓を覗くとカナダの西海岸沿いに北上中で雪をかぶったロッキー山脈が連なっていた。その後は本を読んだり、日記を書いたり居眠りをしたりしながら過ごした。横の席が大阪のYさんで朝食サービス後に会話が始まり、同級生であること、子供時代からの筋金入りの蒸気機関車ファンであることが判った。

日付の変わった26日火曜日の15:15に成田空港に到着。入国手続き後に荷物を待つがなかなか出てこなかった。荷物を受け取り皆さんに挨拶後国内線搭乗口へ移動し、日記をつけて時間をつぶす。羽田空港へ移動するにはトランクが邪魔でやむを得ない。

大阪へ帰る2名のメンバーを見送って最後に福岡行き国内線は出発。20:15福岡空港着。バスまで時間が有ったのでタクシーで帰宅へ。21:15無事に我が家に帰り着いて今回の旅が終わった。

明日から早速写真と日記の整理であるが今回の旅はツアーへの参加で日々の移動は何の心配、苦労も無く、大きなトランクを持参したのでパッケージも楽で良かった。また、天候にも恵まれて大満足であった。

企画し、いろいろと気を使って戴いた櫻井氏と添乗の古澤氏には感謝感謝である。また、何事も無く楽しい旅行になったメンバーの方々にも感謝であるが、欲を言えば食事内容がもう少し良ければ・・・。

追伸

後日櫻井氏撮影の集合写真を送って戴きうれしかった。